

令和元年度  
福島商工会議所 経営発達支援計画  
実施報告書

実施期間：平成30年4月1日～平成35年（令和5年）3月31日（5か年計画）

平成30年3月16日 経済産業大臣認定

令和2年3月31日

福島商工会議所

# I. 経営発達支援事業の内容

## 1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

※調査の事業上の位置づけ、提供方法等は下表の通り。

調査名称	小規模事業者支援のための調査の性格・位置づけ		内部共有手段		提供先と提供情報			
	短期的施策のための調査	中長期的施策のための調査	経営指導員ミーティングで説明・協議	職員会議で説明	会報誌で説明(小規模事業者用)	ホームページ(行政・小規模事業者用)	マスコミ(※)	行政等
(1) 中小企業景況調査	○		○	○	○	○	○ (4回)	○
(2) LOBO調査	○		○	○		○		
(3) 小規模事業者実態調査			○	○	○	○	○	○
(4) 年末年始商戦アンケート調査		○	○	○				

※毎月1回開催している市内マスコミ17社との定例懇談会にて発表・説明

### 【参考】

#### 〈福島商工会議所 会員実態調査〉

対象事業所数：3,863 事業所

調査票発送日：平成30年7月25日

回答締め切り：平成30年9月30日

回答数：1,393 事業所

回答率：36.1%

業種	回答数		企業形態		
	企業数(社)	構成比(%)	法人	個人	無回答
製造業	170	12.2	150	20	0
建設業	253	18.2	221	30	2
卸売業	108	7.7	96	11	1
小売業	224	16.1	167	53	4
旅館・飲食業	93	6.7	55	38	0
サービス業	545	39.1	381	150	14
合計	1,393	100.0	1070	302	21

## 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
経営分析事業所件数	10社	55社	60社	65社	70社	75社
		20社 (延23社)	26社 (延29社)			

## 3. 事業計画等策定支援に関すること【指針②】

### (1) 事業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業計画策定事業者数	20社	45社	50社	55社	60社	65社
		41社	146社			

※新たな販売促進活動等を支援する小規模事業者持続化補助金及びふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金等、また、特に今年度は、台風19号並びに新型コロナウイルス対策のための各種補助金等申請にあたって、災害等からの復興を推し進めるための事業計画策定について伴走型個店指導を行った。

※NHK朝の連続テレビ小説「エール」放映をキッカケとした土産品開発について、当所独自の補助制度である「ふるさとエール補助金」を活用するにあたっての事業計画策定について、伴走型個店支援を行った。

### (2) 創業計画策定支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
創業計画書作成事業者数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社	42社			

### (3) 事業承継計画策定支援

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業承継計画策定数	1件	2件	3件	4件	5件	6件
		14件	28件			

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「事業承継塾（勉強会）」を開催し、事業承継計画策定

について早期着手に向けた支援を行った。また、特に方向性が共有できている事業所については、専門家を派遣する「フォロー個別相談会」により、具体的な事業承継計画書の策定支援を行った。

#### 4. 事業計画等策定後の実施支援に関すること【指針②】

##### (1) 事業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業計画のフォローアップ 対象件数	10社	50社	55社	55社	60社	60社
		41社	146社			
事業計画のフォローアップ 支援回数	10回	200回	220回	220回	240回	240回
		123回	438回			

##### (2) 創業計画策定後の実施支援

【継続・拡充事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
創業計画のフォローアップ 対象件数	20社	25社	27社	30社	33社	35社
		37社	42社			
創業計画のフォローアップ 支援回数	40回	50回	54回	60回	66回	70回
		51回	95回			

##### (3) 事業承継計画策定後の実施支援

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
事業承継計画のフォローア ップ対象件数	1社	2社	3社	4社	5社	6社
		14社	28社			
事業承継計画のフォローア ップ支援回数	4回	8回	12回	16回	20回	24回
		20回	69回			

## 5. 需要動向調査に関すること【指針③】

### (1)商品力向上のための試食会(商品力向上試食(飲)事業)の開催

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
試食会の開催	—	4	4	4	4	4
		1	1			
試食会への出店企業	—	8	10	12	14	16
		5	9			
アンケート回収目標枚数	—	160	200	240	280	320
		94	82			
個社支援目標数	—	50	55	60	65	70
		10	9			

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業（試食会、専門家によるブラッシュアップ等の支援）」を実施し、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

### (2)「ランチ de ラリー」を活用した需要動向の提供

【既存事業、一部新規】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

支援内容	現状	H30	R1	R2	R3	R4
アンケート調査票回収枚数	0	2,800	2,800	3,000	3,000	3,200
		470	451			
本調査による個店支援数 ※飲食店全体に対する 分析結果の提供件数は除く	69	70	70	75	75	80
		10	12			

※伴走型小規模事業者支援推進事業により、「飲食店割引クーポン「ランチ de クーポン」を活用したレベルアップ事業」として、参加店の売上(利用)状況や利用者アンケート等、需要動向に基づいた伴走型個店支援を行った。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

### (1) 商談会への出展支援及び商談会(マッチング)の実施

#### ① 商談会への出展支援及び他商工会議所と連携した商談会の実施

【新規事業】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

商談件数	現状	H30	R1	R2	R3	R4
出展件数	0件	3件	4件	5件	6件	7件
		0件	1件			
商談件数	0件	12件	16件	20件	24件	28件
		0件	2件			
成約件数	0件	3件	4件	5件	6件	7件
		0件	0件			

※昨年に引き続き、商談会への出展を目指すための「販路開拓セミナー」を開催し、新たな販路を開拓する有効な手段のひとつとしての商談会参加に向けた実践力の向上を目指した。

#### ② 製造業・県立医大・医療機器メーカー等とのマッチング事業 《福島市医産連携推進事業》(工業)

【継続事業（一部新規）】

【目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

マッチング件数	現状	H30	R1	R2	R3	R4
出店件数	2店	2店	2店	2店	2店	2店
		2店	2店			
医療機器メーカー等とのマッチング事業	3件	3件	4件	4件	5件	5件
		0件	2件			
成約件数	0件	1件	2件	3件	4件	4件
		0件	1件			

## II. 地域経済の活性化に資する取り組み

### 1. 福島駅前元気プロジェクト事業の実施

【継続事業】

【事業スケジュール及び実績】



※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
福島駅前元気プロジェクト事業	4回	4回	4回	4回	4回	4回
		4回	4回			

### 2. 福島駅前通り・県庁前通りリニューアル事業

【継続事業】

【令和元年度実績】

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
福島駅前通りリニューアル事業	アーケード撤去・街路灯設置終了 修景整備事業については、再開発事業を見据えながら実施予定 					
県庁通りまちづくり事業	まちづくり計画に沿ったソフト事業の展開  <b>【夜見市】</b> 開催日：R01.05.25 会場：県庁通り商店街・上町テラス ほか 受講者数：70名					

### 3. 福島わらじまつり

【継続事業】

【本祭り目標及び実績】

※上段：目標、下段：実績

項目	現状	H30	R1	R2	R3	R4
観客数	280,000人	281,000人	282,000人	283,000人	284,000人	285,000人
		293,000人	302,000人			
参加者数	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人	6,300人
		7,053人	6,612人			

※参加者数は、会場（国道13号線の車道）のキャパの関係から現状が限界となっているため。

※令和元年度は、福島市において「東北絆まつり」を開催し、全国に元気でにぎやかな福島をアピールした。

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業名	連携者	連携内容	頻度	実績
オールふくしま 中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会	福島県及び県内の金融機関、商工会議所、商工会、東日本大震災事業者再生支援機構、東北税理士会福島支部連合会、福島県中小企業診断協会、福島県信用保証協会、福島県産業振興センター、中小企業基盤整備機構東北支部などの支援団体648社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業、小規模事業者に対する下記の支援</li> <li>・経営改善及び事業再生等の取り組みへの支援</li> <li>・事業展開など経営課題に関する支援</li> <li>・支援に必要な情報の共有</li> <li>・企業支援人材の育成のための情報交換や研修等の開催</li> </ul>	14回	4回
創業・新事業連携	東邦銀行、福島銀行、福島信用金庫、日本政策金融公庫国民生活事業福島支店、TKC東北会福島県支部、福島県社会保険労務士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の創業者と第二創業者に関する情報交換</li> <li>・創業計画書の作成支援</li> <li>・創業支援ノウハウの共有と融資</li> </ul>	4回	4回
福島市医産連携推進事業	福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加企業の技術内容の確認・分析を実施し、医療機器分野参入に向けた指導・助言</li> <li>・医療機器分野に関する各種情報の提供や企業間マッチング、今後の予測分析の実施</li> </ul>	8回	8回
よろず支援拠点	よろず支援拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の小規模事業者の現状や、直面する経営課題・問題などに関する情報交換</li> <li>・小規模事業者の経営計画策定等に関する支援ノウハウの共有</li> </ul>	2回	17回

※その他、福島県商工会議所連合会（事務局：福島商工会議所）において、県内会頭会議や専務理事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議、指導員・補助員研修会などにおいて、随時情報交換を行っている。



## 2. 経営指導員の資質向上等に関すること

(参考：令和元年度実績)

開催日	研修名	内容	受講者	場所
元年度	中小企業基盤整備機構基礎研修Ⅰ・Ⅱ	経営診断、商圈分析ほか	3名	中小企業大学校東京校・仙台校
元年度	中小企業基盤整備機構専門研修	伴走型支援計画策定、マーケットイン支援・労務リスク管理他	4名	中小企業大学校東京校・仙台校
元. 6. 3	日商オンラインセミナー	消費税軽減税率対策窓口相談等事業、費税軽減税率制度導入に向けた対応、消費税転嫁対策	8名	福島商工会議所
元. 6. 20 ～21	福島県内商工会議所経営指導員等研修会	県商工労働・まちづくり支援施策、消費税、各団体支援制度、創業事例、先端技術事例視察等	12名	福島商工会議所他
元. 7. 3 ～4	商工会議所経営指導員全国研修会	伴走型支援における事業者のフォローアップ	2名	岡山コンベンションセンター
元. 10. 28	日商オンラインセミナー	消費税軽減税率対策窓口相談等事業、消費税軽減税率導入に伴う経理処理の変更点	10名	福島商工会議所
元. 11. 21 ～22	福島県内商工会議所経営指導員等研修会	IT利活用、FCPシート、人材育成、事業承継、経営革新等支援、先端技術事例視察等	9名	会津若松商工会議所他
元. 12. 2 ～3	福島県内商工会議所補助員等研修会	会計・決算・申告、地域商品開発、小規模事業者への伴走支援、地域活性化事例視察等	7名	福島商工会議所他
2. 1. 17	消費税確定申告勉強会（職員対象）	消費税率引上げ・軽減税率導入に関する確定申告書作成方法等	8名	福島商工会議所
2. 1. 28	日商オンラインセミナー	伴走型補助金の精算・実績報告業務の実務上の留意事項 消費税率引上げ・軽減税率導入後の対応等	6名	福島商工会議所
31. 4月～ 2. 3月	経営指導員ミーティング（週一で開催）	事業所接触履歴と指導内容等の確認・情報共有	8名	福島商工会議所

# 福島商工会議所 令和元年度経営発達支援計画評価委員会 報告書

1. 日 時 令和2年7月17日(金) 10:30~11:30

2. 場 所 コラッセふくしま 401 会議室

## 3. 出席者

[委 員]		(順不同：敬称略)
福島県北地方振興局企画商工部	部長	加藤 英和
福島市商工観光部	次長	松田 和士
福島大学人文社会学群人間発達文化学類	教授	初澤 敏生
一般社団法人福島県中小企業診断協会	専務理事 事務本部長	段林 孝信
福島市商店街連合会	会長	小河 日出男
福島商工会議所 中小企業振興委員会	委員長	大和田 知昭
福島商工会議所	専務理事	石井 浩
[事務局]		
福島商工会議所	常務理事	本田 政博
〃	理事 事務局長	日下部 之彦
〃	事業推進部 部長	椿 哲
〃	〃 参事兼経営支援課長	大金 英一
〃	〃 経営支援課課長補佐	勝瀬 晴宣

## 4. 事業報告

まず、経営発達支援計画策定の背景と当所の計画概要について、続いて、当所の伴走型補助事業の令和元年度事業内容について、事務局より説明。

次に、当所経営発達支援計画に係る令和元年度事業について大項目ごとに事務局より説明し、その後評価をいただく形で進行。

## 5. 評 価

令和元年度事業運営に関しては、評価委員会からの総意として、台風や新型コロナへの対応など含めて概ね良好との評価をいただき、今後とも計画に沿って、アフターコロナへの対応も踏まえながら小規模事業者支援を推進するよう依頼された。